

2025 年度大学院前期課程入試問題（経済学）2 次試験 出題の意図など

問 1

ミクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり，指定図書における関連箇所は，古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p.41 である

問 2

ミクロ経済学的分析の重要なツールであるゲーム理論におけるナッシュ均衡を求める問題である．指定図書における関連箇所は，古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年,p.186 と p.209 である．

問 3

出題の意図：マクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり，指定図書における関連箇所は，平口良司・稲葉大.マクロ経済学入門の「一歩前」から応用まで 第3版.有斐閣ストゥディア,2023年, p.145 と古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p.351 である．

問 4

出題の意図：ミクロ経済学の基礎的な知識を応用する能力を見る問題である．指定図書における関連箇所は，古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p.114 と p.129 である．

問 5

出題の意図：マクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり，指定図書における関連箇所は，古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p.236 である．